

文化審議会における大山寺本堂の国登録有形文化財への答申について

令和5年11月24日に開催された国の文化審議会文化財分科会において、「大山寺本堂」を「国登録有形文化財」に登録することについて、文化庁長官へ答申されました。

大山寺は江戸時代に隆盛を極めた大山詣りの最終目的地であり、開創は755年、奈良東大寺の初代別当である良弁僧正によるといわれ、鎌倉時代には源頼朝が信仰するなど、各時代の権力者により厚く信仰されてきました。

本堂は、明治18年に建立され、中世から代々受け継がれる宮大工の名匠、手中明王太郎による彫刻がふんだんに用いられ、圧巻であること、大山詣りを今に伝える貴重な近代仏堂であることから、「造形の規範となっているもの」という登録基準により、建造物として国登録有形文化財となるものです。

これにより、本市の国登録有形文化財は、計11件となります。

1 文化財名称

大山寺本堂（所在地：伊勢原市大山724番地）

2 所有者

宗教法人大山寺 代表役員 篠宮聖尚

3 文化財類型

国登録有形文化財（建造物）

4 答申日

令和5年11月24日（金）

5 今後の対応

国の文化財登録原簿へ登録後、官報告示を経て正式に国の有形文化財に登録され、登録証及び登録プレートが発行されます。



写真1 外観



写真2 手中明王太郎銘の彫刻

令和5年度 全国学力・学習状況調査における伊勢原市結果の分析について

伊勢原市教育委員会

伊勢原市では、児童生徒の学力や学習状況に関し、継続的な検証改善サイクルの確立を目的として、文部科学省「令和5年度 全国学力・学習状況調査」を実施しました。
伊勢原市立小中学校の調査結果の概要をお知らせします。

【調査日時】 令和5年4月18日(火)

※英語「話すこと」調査は、文部科学省が学校ごとに指定する日に実施

【調査対象学年・参加人数】 小学校6年生 722人 中学校3年生 684人

【調査内容】

1 教科に関する調査

- ・小学校:国語、算数 中学校:国語、数学、英語
- ・出題範囲:調査する学年の前学年まで
- ・出題内容:「知識・技能」及び「活用」に関する問題を一体的に出題
- ・出題形式:記述式の問題を一定割合で導入、中学校の英語「話すこと」は口述式の問題を出題

2 児童生徒に対する質問紙調査、学校に対する質問紙調査

【調査結果についての留意事項】

- 実施教科が国語、算数・数学の2教科(中学校においては英語を含めた3教科)であり、学習指導要領のすべてを網羅するものではないことから、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であること。
- 年度によって問題の質が異なるため、平均正答率の経年変化のみから、学力の向上、低下の傾向を評価することは難しいこと。

1 教科に関する調査の結果から

(1)平均正答率

小中学校共に、全国及び神奈川県と比較して、正答数・正答率と大きな差は見られませんでした。

《令和5年度 教科に関する調査の平均正答数と平均正答率(%) (公立小中学校)》

令和5年度	小学校調査				中学校調査					
	国語		算数		国語		数学		英語	
	(14問)		(16問)		(15問)		(15問)		(17問)	
	正答数 (問)	正答率 (%)	正答数 (問)	正答率 (%)	正答数 (問)	正答率 (%)	正答数 (問)	正答率 (%)	正答数 (問)	正答率 (%)
伊勢原市	8.5	61	9.1	57	10.5	70	7.6	51	7.5	44
神奈川県	9.3	66	10.1	63	10.4	70	7.8	52	8.6	50
全国	9.4	67.2	10.0	62.5	10.5	69.8	7.6	51.0	7.7	45.6

※県及び市の平均正答率は、国から小数第1位を四捨五入した整数値で提供されています。

(2)教科・設問ごとの分析結果

教科に関する調査結果について、各教科・設問ごとに分析したところ、習得の状況が良好であると見られる特長と指導の改善・充実が求められる課題が見られました。

～主な特長と課題～

小 学 校	国 語	特 長	<ul style="list-style-type: none"> ・送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる。 ・文章の種類とその特徴について理解している。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中 心を捉えることができる。
		課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。 ・日常よく使われる敬語を理解すること。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えを まとめること。
	算 数	特 長	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りた い数を求めることができる。 ・正方形の意味や性質について理解している。 ・伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表 の中の適切な数の組を用いることができる。 ・（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることが できる。
		課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・正三角形の意味や性質について理解すること。 ・加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすること。 ・伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大き さの求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。 ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その 理由を言葉や数を用いて記述すること。

中 学 校	国 語	特 長	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句について理解している。 ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる。 ・目的や場面に応じて質問する内容を検討することができる。 ・聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができる。
		課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。 ・文脈に即して漢字を正しく書くこと。 ・観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えること。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。
	数 学	特 長	<ul style="list-style-type: none"> ・数と数式の乗法の計算ができる。 ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。 ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。 ・結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができる。
		課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解すること。 ・反比例の意味を理解すること。 ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。 ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。
	英 語	特 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択することができる。 ・道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択することができる。 ・忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択することができる。 ・図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択することができる。
		課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択すること。 ・与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させること。 ・友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択すること。 ・学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書くこと。

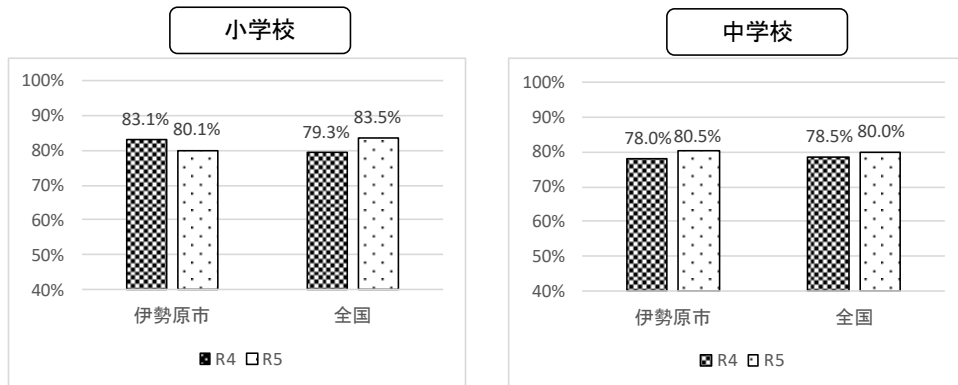
2 児童生徒質問紙調査の結果から

* 各グラフの数値は、質問に対して「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童生徒の割合を示しています。

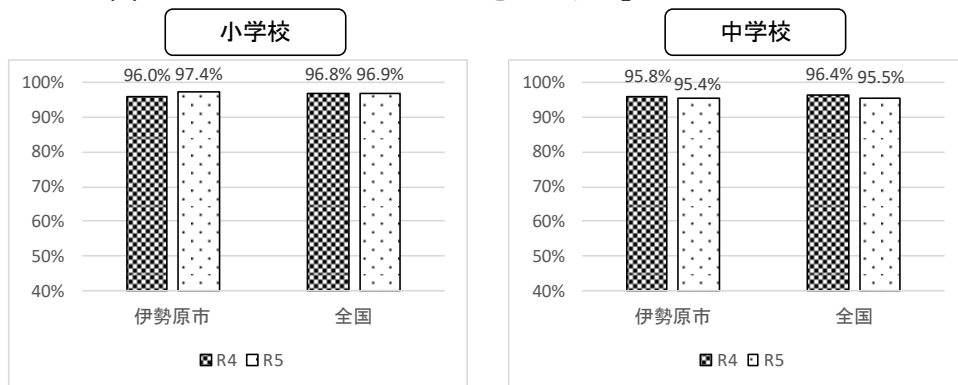
(1) 児童生徒の生活に対する意識に関して

- ・自分にはよいところがあると感じている児童生徒の割合は、小学校においては昨年度より低下し、中学校においては昨年度よりやや上昇しています。引き続き、各校での教育活動や道徳教育など、さまざまな場面で、児童生徒の自己存在感や自己肯定感を高め、共感的な人間関係の育成に努める等、個や集団に応じた指導に留意する必要があると考えます。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答している児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに高い状態です。今後も、児童生徒の意識を高めていく取組を継続していく必要があります。

Q「自分には、よいところがあると思いますか」



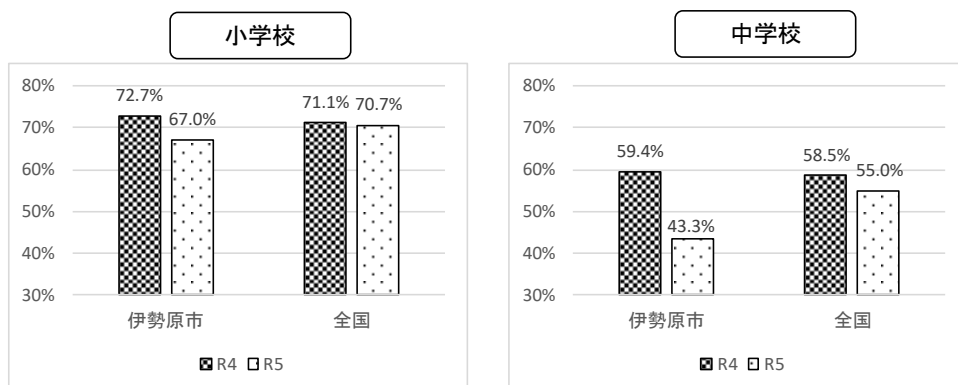
Q「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」



(2) 家庭学習に関して

- ・家で計画を立てて勉強している児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに昨年度と比較し低下しています。今年度は、コロナ禍以前と同様の学習活動や部活動が実施され、計画的に家庭で学習することへの意識が薄れてしまった等の可能性が考えられます。
- ・主体的に学習に取り組めるように、学習課題を明確にするとともに、勉強の仕方を指導することが必要と考えます。学校と家庭とが連携して、学校の学びを家庭へつなげることも大切です。

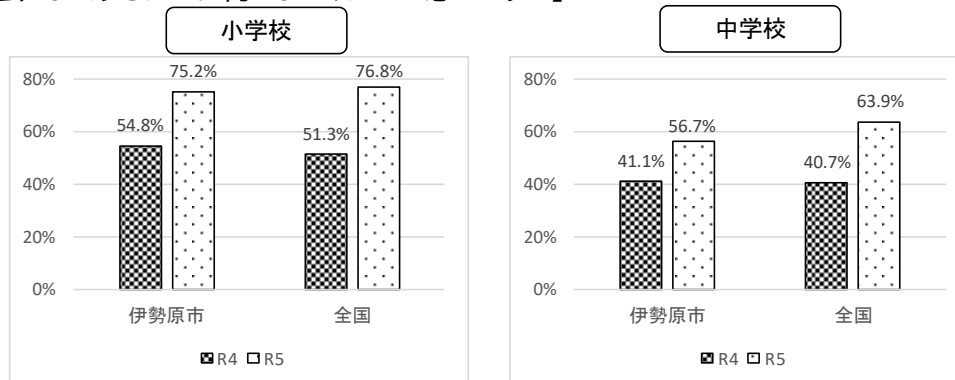
Q「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」



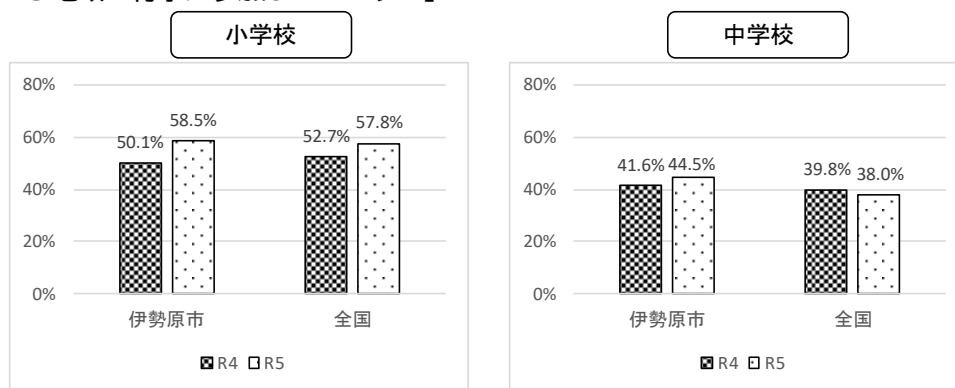
(3) 地域や社会に関わる活動等の状況について

- ・地域や社会をよくするために何かしたいと考えることがある児童生徒の割合は、昨年度と比べると小学校、中学校ともに上昇しています。さらに、地域の行事に参加している割合においても、昨年度よりも上昇しています。
- ・今後も社会に開かれた教育課程の実現のため、継続して地域の魅力やよさを生かした学習活動に取り組むとともに、地域とともに児童生徒を育てていく必要があります。

Q「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」



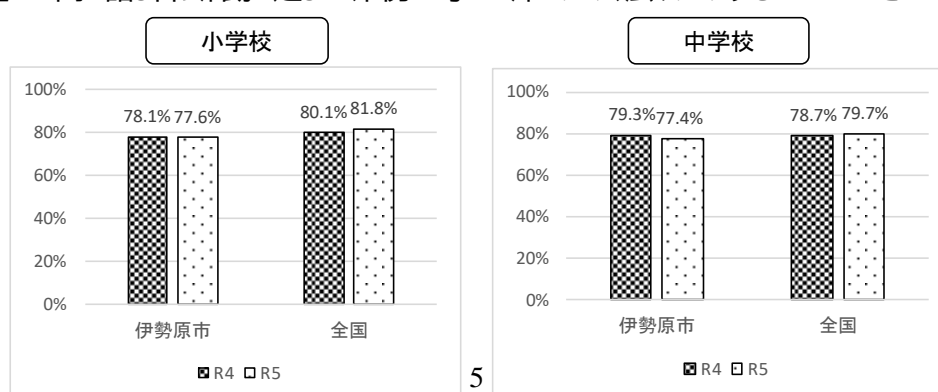
Q「今住んでいる地域の行事に参加していますか」



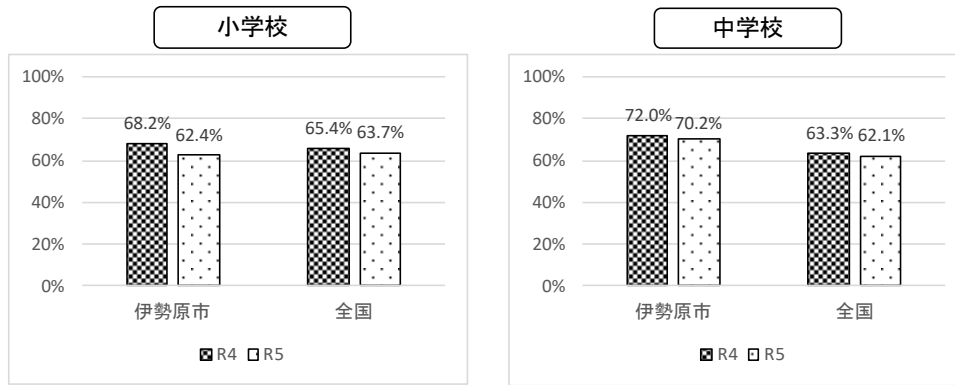
(4) 主体的・対話的で深い学びの視点から

- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と、主体的・対話的で深い学びの視点からの活動に関するそれぞれの項目において、小・中学校ともに、全国と比較して大きな差はありません。
- ・引き続き、話し合う活動や自分の考えを発表する学習をさらに充実させていくことが必要です。また、思考力・判断力・表現力等の基盤となる言語能力の育成に当たって、児童生徒の発達段階に応じた問いや言語活動を設定するなど、指導を工夫していくことが重要です。さらに、課題設定の工夫や言語活動の充実等を通して、児童生徒が主体的に学ぶ意欲を高めていく必要があります。

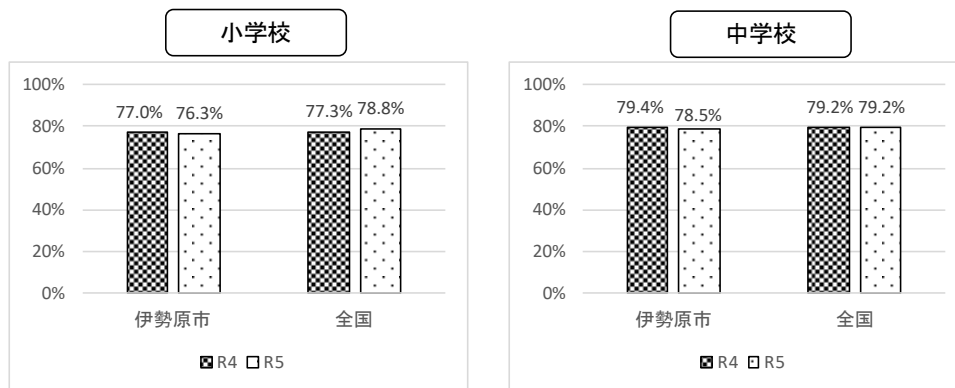
Q「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」



Q「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」



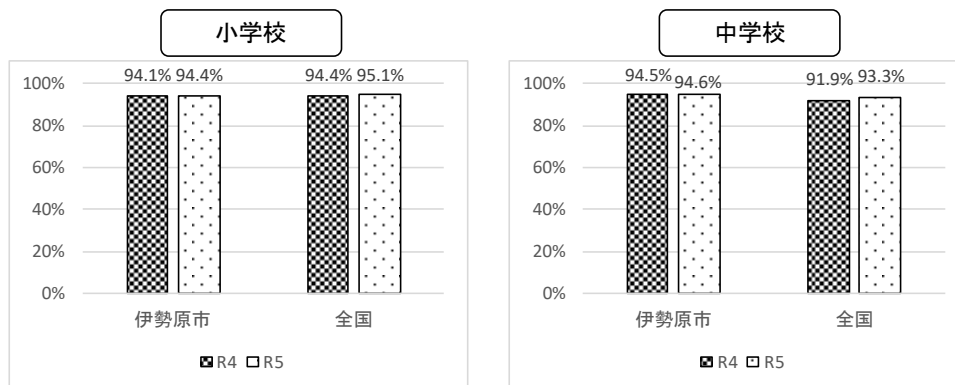
Q「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」



(5) ICTを活用した学習状況

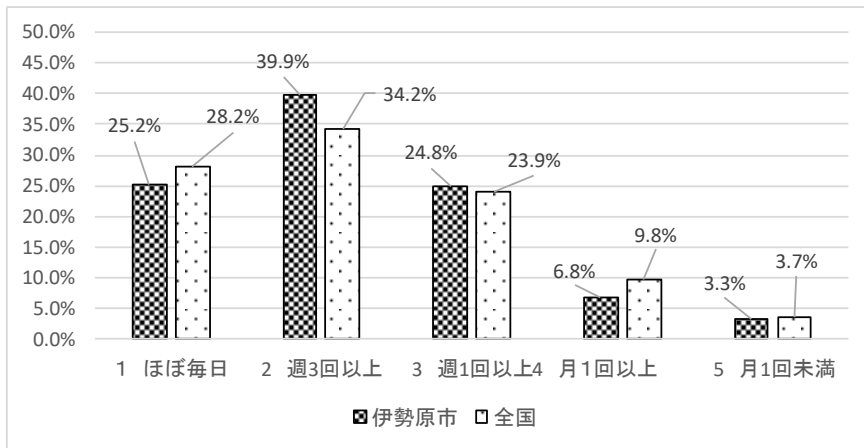
- ・「学校の中で PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」と回答している割合は、昨年度に引き続き9割を超えています。
- ・授業における PC・タブレットの利用の頻度は、小学校においては昨年度と比較し上昇しています。一方、中学校における使用頻度は昨年度に引き続き高い状況です。
- ・学習におけるそれぞれの場面において、PC・タブレットを用いた指導方法について引き続き研究を進めるとともに、児童生徒の資質・能力を育成するため、ICT 機器の効果的な活用を図っていく必要があります。

Q「学校の中で PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」

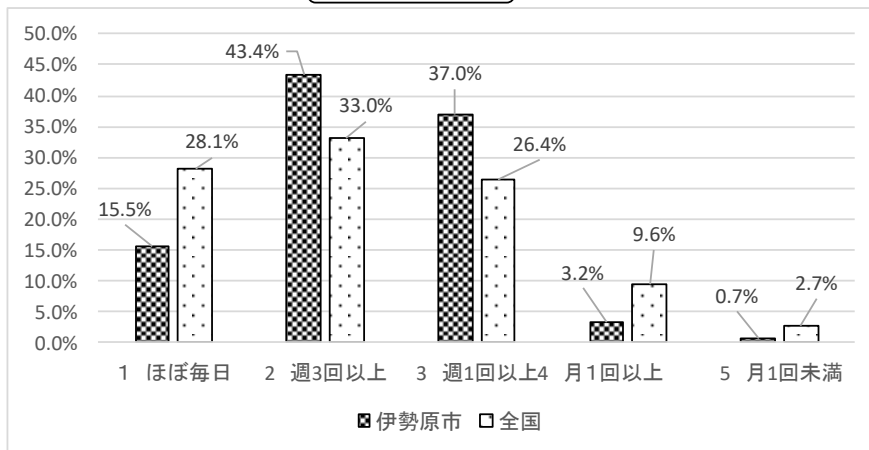


Q「5年生(2年生)までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」

小学校



中学校



3 児童生徒質問紙調査と教科に関する調査のクロス集計結果から

児童生徒質問紙調査の結果と教科に関する調査結果との関係を見ると、次のような児童生徒の方が、教科の正答率が高い傾向が見られました。

- ・朝食を毎日食べている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。(小学校)
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。(小学校)
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む)
- ・新聞を読んでいる。
- ・読書は好き。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- ・授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- ・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- ・授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
- ・前年度までに受けた授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などと感じている。
- ・学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。

4 学校がよりよい授業実践に向けて重視していきたいこと

各学校では、次のような点を重視し、全学年・全教科を通じて授業の充実を図る必要があります。

- ・習得した知識及び技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の資質・能力をはぐくむため、各教科において、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に取り組むこと。
- ・1人1台端末をはじめとしたICT機器を効果的に用いることで、主体的・対話的で深い学びや個に応じた指導の充実を図ること。
- ・各学年・各教科での言語活動の実施状況や課題設定の工夫について職員間で共有するなど、学校全体としての取組を充実すること。
- ・家庭との連携を図りながら、発達の段階に応じて家庭での学習課題への取組を指示したり、学習計画の立て方や学び方について具体例を挙げながら指導したりすることで、児童生徒が自主的に学ぶ力を育むこと。
- ・全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校全体の教育活動の改善に生かすとともに、引き続き、保護者や地域の方との協力・連携を進めること。

【小学校国語】

- ・学習活動や日常生活において文や文章を書く際、必要に応じて漢字を使う意識がもてるように指導する。その際に、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くよう指導を工夫する。
- ・日常生活の中で敬語を使う場面等を具体的に想定した学習活動を行う。また、学校行事や来客時等に敬語の使い方を確認するなどし、敬語の定着を図る。
- ・文章や資料を読む際には、読む目的を意識することを促すとともに、読んで理解したことと既存の知識や体験と結び付けながら自分の考えをまとめる活動を取り入れるなどする。また、複数の文章や資料に書かれていることを比較することで、自分の考えを広げることができることを実感できるようにする。
- ・話を聞く前に、自分が話を聞く目的や求めている情報等を明確にしたり、知りたいことや疑問に思っていることを整理したりする機会を設けるなどする。また、話し手に質問するなど、話し手の考えと比較しながら自分の考えを深めたりまとめたりできるようにする。

【小学校算数】

- ・図形の観察や操作活動をとおして、操作の見通しとともに、図形の意味や性質を考えることができるようにする。
- ・計算に関して成り立つ性質と様々な場面や事象を関連付けて考察できるように指導する。
- ・調べようとする数量と関係のある数量を見いだしたり、数量やその関係を表にまとめたり、変化や対応の特徴を問題の解決に活用したりするなど、日常生活の様々な場面で関数の考えを使って問題を解決できるようにする。

【中学校国語】

- ・「原因と結果」「意見と根拠」などの基本的な情報と情報との関係について理解し、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面で活用できるように指導する。
- ・漢字の意味や用法などの知識を習得するとともに、実際に漢字を書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことができるように指導の工夫を行う。
- ・説明的な文章において、文章で述べられている内容を確認した上で、文章のどの部分にどのような表現の工夫が見られるかを捉えることができるよう指導する。
- ・古典の現代語訳や古典について解説した文章などを教材として適切に取り上げ、生徒が古典との距離を縮め、古典の世界に親しむことができるよう指導する。

【中学校数学】

- ・空間における平面が一つに決まるときの条件を見だし、観察や操作などの活動を通して実感を行いながら理解できるようにする。
- ・伴って変わる二つの数量を見だして、それらの関係に着目し、目的に応じて表、式、グラフを用いて、二つの数量の変化や対応の特徴を考察できるようにする。また、どのような関数関係にあるかを判断し、問題解決に生かせるように指導する。
- ・日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決することができるように指導する。その際、問題を解決するために計画を立て、必要なデータを収集して分析し、データの分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するという一連の活動を充実させる。
- ・日常的な事象における数量の関係を一次関数とみなして問題解決することや、表、式、グラフを相互に関連付けて考察することなど、関数を活用することのよさを実感できるようにする。

【中学校英語】

- ・まとまりのある文章を書くことについて前回調査から継続課題となっていることや、「書くこと」に関する問題の無解答が多い傾向があることから、説明文では「その具体例」まで書くこと、意見文では「その理由」まで書くこと等、目的に応じた文章構成を意識して書くことができるよう日頃から指導する。
- ・小学校で育成された力を生かしながら、事実や意見、気持ちなどを伝え合い、会話を継続・発展できるようにするために、生徒同士や教員・ALT等との即興的な言語活動を行う機会を十分に確保する必要がある。その際、1人1台端末等を活用して個に応じた指導を行う等の配慮も考えられる。
- ・「聞くこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「読むこと」及び「書くこと」の各領域の言語活動をできるだけ有機的に関連させるとともに、意味のある文脈の中で既習の語彙や表現に繰り返し触れることができるように、指導計画を工夫する。

5 家庭にお願いしたいこと

進んで学ぶ子どもを育てるために、家庭においても特に次の点について、ご指導をお願いします。

- ・ 規則正しい生活習慣を心がけましょう。
例) 早寝・早起き・朝ごはん、家庭学習や読書等の習慣 等
- ・ 家族で、学校や地域、社会での出来事、将来のことなどについて話題にしてみましょう。
- ・ 日常生活の中での「達成感」を大切にしましょう。
例) 家庭の中で子どもに役割を与えましょう。子どものがんばりをほめましょう。
- ・ ボランティア活動や地域の行事等に一緒に参加しましょう。
例) 公民館まつり、総合防災訓練、地区・学区体育祭などへの参加 等
- ・ テレビゲームや携帯電話・スマートフォン等の使い方について、話し合しましょう。
「スマートフォンの使い方 フォン当に大丈夫? ~STOP!! 1タップ~」

(令和3年度伊勢原市中学生からのスローガン)



伊勢原市公認イメージキャラクター
クルリン

伊勢原市教育委員会では、家庭学習の手引きとして、冊子『学びのすすめ』を作成し、学校を通じて家庭に配布しています。ぜひご活用ください。

参考 冊子『学びのすすめ』は、伊勢原市教育センターのウェブサイト内リンクリストからダウンロードできます。伊勢原市教育センターURL <http://www.isehara.ed.jp/center/>

6 地域にお願いしたいこと

社会に開かれた教育課程を実現し、これからの時代を生きる子どもたちに必要な力を育むため、学校と地域が相互に連携していく必要があります。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

- ・ 地域の未来を担う子どもたちの「生きる力」をともに育むため、自然環境や歴史文化等の地域の魅力やよさを生かした体験活動の機会を充実させましょう。
- ・ 各地区の祭りや市民清掃など、地域の行事や活動への子どもたちの参加を促し、郷土への愛着と誇りをともに育てていきましょう。
- ・ 子どもたちが地域で安心・安全に過ごせるよう、ともに見守っていきましょう。



伊勢原市公認イメージキャラクター
クルリン

令和5年度伊勢原市学校・地域連絡調整会議兼
コミュニティ・スクール研修会について

令和5年11月
教育指導課

令和5年度伊勢原市学校・地域連絡調整会議兼コミュニティ・スクール研修会を開催しましたので、次のとおり報告します。

1. 日 時 令和5年11月7日（火） 午後3時00分から午後4時40分

2. 場 所 伊勢原市役所2階 2CD会議室

3. 出席者 23名

(1) 各校学校運営協議会代表者

- ・伊勢原小学校 武藏 郁夫 学校運営協議会会長（北地区自治会代表）
- ・大山小学校 竹林 盛 教務
- ・高部屋小学校 石渡 誠一 校長
- ・比々多小学校 熊谷 吉祥 学校運営協議会会長（放課後自習教室 未来っ子クラブ 代表）
- ・成瀬小学校 中和 信治 学校運営協議会会長
- ・大田小学校 石井 洋一 学校運営協議会会長（大田地区自治会代表）
- ・桜台小学校 柴野 科子 教頭
- ・緑台小学校 佐藤 幸也 校長
- ・竹園小学校 越水 真理 地域学校協働活動推進員
- ・山王中学校 安達 浩志 地域学校協働活動推進員
- ・成瀬中学校 坂田 政幸 学校運営協議会会長（成瀬地区青少年指導員）
- ・伊勢原中学校 石川 敦史 教頭
- ・中沢中学校 本間 崇敬 学校運営協議会会長（PTA会長）

(2) 学校代表者

- ・小学校長会長 臼井 裕二 比々多小学校長
- ・中学校長会長 北村 雅彦 成瀬中学校長

(3) 教育委員会等市職員 8名

4. コミュニティ・スクール研修会

報告及び説明者 教育指導課 係長兼指導主事 小菅 聡子

(1) 先進校視察報告（令和5年8月23日）

- ・視 察 先 横浜市立東山田中学校 横浜市都筑区東山田二丁目9番1号
- ・学校概要 平成17年度開校、小林 祐樹 校長
生徒数691名、職員数51名（R5. 5月現在）
- ・東山田中学校ブロック学校運営協議会
【中学校区】 3小1中
東山田中学校、山田小学校、北山田小学校、東山田小学校
【学校運営協議会委員】 20名
保護者 4名、地域住民 5名、学識経験者 3名
学校運営に資する活動を行う者 4名、学校長 4名

- ・学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進
 - 「東山田中学校ブロック学校運営協議会」 ⇒ 事務局長
 - 「地域学校協働本部（やまたろう本部）」 ⇒ 学校地域コーディネーター
 - 「東山田中学校コミュニティハウス」（活動場所が学校の敷地内にある）
 - 指定管理者：認定特定非営利活動法人つづき区民交流協会 ⇒ 館長
- ◎3者が学校管理職と連絡・調整を図りながら、それぞれの役割を担っている。
- ・大切にしていること
 - 情報の共有** 学校と地域の予定が記載されているコミュニティカレンダーを、毎年度、中学校区の全家庭に配布。
 - 課題の共有** 会議の司会は事前に校長と打合せをして会長が行い、遠方の委員はZoomも活用。内容に応じて、教職員・生徒会生徒も参加。
 - 行動の共有** 「まちのたから」を生かした教育課程（9年間の学びの地図）、支援の必要な児童生徒の学校外の学びの場（やまたろうクラブ等）
 - 成功体験の共有** 多くの大人から認められる・見守られる安心感（児童・生徒＝まちの宝）、教師力UP（教師＝学校にとっての魅力）、学校を中心とするコミュニティの構築（地域＝教育の源）

(2) 学校運営協議会における「熟議」とは

- ・「熟議」とは、「協働」を目指した対話のこと。（文部科学省「熟議カケアイ」より）
- ポイント 多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、解決策が洗練され、施策が決定されたり、個々人が納得して自分の役割を果たしたりするようになる。
- 付箋を使用して進める場合の例
 - ①全体でテーマの共有、関係資料の確認
 - ②人数が多い場合はグループを分ける
 - ※多くても7～8人。様々な立場の人で構成。
 - ③自己紹介（初めての参加者がいる場合）
 - ④テーマについて、付箋に単語や短い文で書き出す
 - ※1枚の付箋に書くのは、2行程度まで。
 - ⑤付箋を白紙やホワイトボードに貼りながら、自由に意見交換
 - ⑥ファシリテーターが付箋を整理
 - ⑦各グループで出された意見を全体共有
- ファシリテーターの心構え

5. グループ別情報交換及び協議で出された話題（一部抜粋）

- Aグループ
 - ・運動会について（地域サポーターが見守り、地域の方への感謝の会、地区と共催）、地域の行事に親子で参加し家庭と地域がつながる、飲食を含む行事を再開したい。
- Bグループ
 - ・米作りや自然観察路整備等で学校を中心に一つの目標に向かって多くの大人が関わる、地区の教育目標を作成、回覧板で150周年記念キャラクターの投票を依頼。
- Cグループ
 - ・活動の主催団体と学校運営協議会の連携、中学校の吹奏楽部が地域のお祭りに参加、学校に入る際のセキュリティや個人情報等の扱い、地域の宝の認識と活動への展開。
- Dグループ
 - ・地区運動会に中学生がボランティアとして参加、PTAが通学路点検実施、すでに行われている様々な地域学校協働活動を再確認してアピールしていくことが大切。

教育委員会等関連主要行事一覧（12月・1月）

◆教育委員へ別途出席を依頼する行事は最右欄に「●」印を付しています

No.	行事名	開催場所	開催日	時間	主催	所管課	教育委員への 出席依頼
1	第53回市民走れ走れ大会	伊勢原市総合運動公園	12月10日(日)	9:00～	伊勢原市	スポーツ課	
2	12月教育委員会定例会	市役所 第2委員会室	12月19日(火)	14:00～15:30	教育委員会	教育総務課	●
3	令和6年伊勢原市はたちのつどい	伊勢原市民文化会館 大ホール	1月8日(月)	(開場) 10:30 (開式) 11:00	伊勢原市・ 教育委員会	青少年課	●
4	第41回伊勢原駅伝競走大会・ミニ駅伝競走大会	伊勢原市総合運動公園・ 専修大学伊勢原総合 グラウンド周辺	1月14日(日)	ミニ駅伝8:30～ 伊勢原駅伝10:00～	伊勢原市	スポーツ課	
5	1月教育委員会定例会	市役所 第2委員会室	1月23日(火)	9:30～12:00	教育委員会	教育総務課	●
6	中学校生徒美術展	中央公民館 展示ホール	1月19日(金)～21日(日)	9:00～17:00	中学校教育研究会	教育センター	
7	タンポポ展	伊勢原市民文化会館 展示室	1月27日(土)～28日(日)	10:00～16:00	中学校教育研究会	教育センター	

子ども科学館ニュース

2023年11・12月号
Vol.167



伊勢原市立子ども科学館

●住所：〒259-1142 伊勢原市田中76番地
●電話：0463-92-3600



●子ども科学館ホームページ URL
<https://www.city.isehara.kanagawa.jp/kagakukan/>



◎募集教室のご案内◎ 予約が必要なイベントの予約開始日

※教室によっては市の広報などで先にお知らせする場合があります。定員に達した場合は、受付をしめらせていただきますので、あらかじめご了承ください。
※催し物の内容・開催等は予告なく変更・中止する場合があります。

予約開始日をご確認の上、お電話でお申し込みください。
受付時間は午前9：00～午後5：00です。

- ①11月5日(日)までのイベント→ただいま受付中
- ②11月11日(土)～12月10日(日)のイベント
→11月1日(水) 9:00～
- ③12月16日(土)～1月14日(日)のイベント
→12月6日(水) 9:00～

事前予約

=予約開始日をご確認の上、前日までにお電話でお申し込みください。
人数に空きがあれば当日申込みも可。

メール

=科学館のホームページから、メールフォームを使ってお申し込みください。当選者のみメールまたはお電話でお知らせします。

抽選制

=申し込み多数の場合は抽選になります。

※特に記載がないものは、入館料がかかります。
小学生以上100円、高校生以上300円

<土曜・日曜の午後>たぬき先生の教室

事前予約

「やさしいおもちゃづくり」

14：30～15：15

▶紙飛行機などかんたんにできるおもちゃ作りです。

対象：4歳～小学5年生
6名 ※保護者同伴



<土曜・日曜の午後>エメラルド先生の教室

「やさしい木工教室」

▶電動糸のこぎりを使って木工を楽しもう

13：15～14：15

対象：小学3年生～中学生 各回2名

※小学生は保護者同伴

※11/26、12/24は親子木工教室のためありません



事前予約

初めてのほしそらさんぽ

メール

11月23日(木・祝) 10：45～11：45

▶小学4年生で勉強するお月さまの観察の仕方や、秋の星空観察のコツをたぬき先生と一緒に学びます。

対象：10家族(1家族4人程度)申込み順
※ご家族でご参加ください。

「親子木工教室」

メール

抽選制

▶電動糸のこぎりを使って親子で木工を楽しもう

日時：11月26日(日) 13：15～15：15

12月24日(日) 13：15～15：15

対象：小学生～中学生の親子(1組2名)4組 8名

<申込み方法>受付期間内にメールで承ります。最終日の翌日に抽選を行い、結果はメールでご連絡致します。

受付期間：11月26日の教室⇒11/1(水)～11/8(水)

12月24日の教室⇒12/6(水)～12/13(水)

クーデの日 天体観測会

参加無料

メール

抽選制

11月25日(土) ①18:00～18:30 ②18:30～19:00

12月23日(土) ①18:00～18:30 ②18:30～19:00

各回4組(1組5名まで)

クーデ式望遠鏡他で月等を観察します。クーデの日は予約制ですが、科学館外階段下の望遠鏡は、予約無しでもご覧いただけます。雨天・曇天中止。

<申込み方法>

受付期間内にメールで承ります。最終日の翌日に抽選を行い、結果はメールでご連絡致します。

受付期間：11月25日のクーデの日⇒11/1(水)～11/8(水)

12月23日のクーデの日⇒12/6(水)～12/13(水)

※当日の開始時刻を10分過ぎるとご案内できない場合があります。

※中学生以下の方は保護者と一緒の参加になります。

※11/25の月齢 12.1 12/23の月齢 10.5

はじめてのプラネタリウム

メール

11月16日(木) 10：30～11：30

▶泣いてしまっても大丈夫です！プラネタリウムデビューをしてみませんか？しゃぼん玉遊びも体験できます。

対象：乳幼児(0～3歳)とその保護者
20組(申込み順)



～今後開催予定のイベント～

「ナイトミュージアム」

12月27日(水)開催予定です。詳細はホームページでお知らせします！

プラネタリウム番組

大好評投影中！

12/23で終了します
お見逃しなく！

11/3～12/10

12/16～12/28
期間限定投影

「チョコちゃんに叱られる！」 ©NHK
プラネタリウムで
チョコちゃんに叱られる！
チョコとキョエの宇宙大冒険！
無知との遭遇

ハナビリウム
HANABIRIUM

©丸玉屋

今夜、銀河の片隅で

©GOTO

こまねこのクリスマス
～迷子になったプレゼント～

©TYO/dwarf・こまねこフィルムパートナーズ
©アミ・ドゥ・こまねこ

◎11/3～12/10の投影日
①10:30～「今夜銀河の片隅で」
②13:30～「チョコちゃんに叱られる」
③15:30～「ハナビリウム」

◎12/16～12/23の投影日
①10:30～「チョコちゃんに叱られる」
②13:30～「ハナビリウム」
③15:30～「こまねこのクリスマス」

◎12/24～12/28の投影日
①10:30～「チョコちゃんに叱られる」
②13:30～「こまねこのクリスマス」
③15:30～「この空に願いをこめて」

●冬休み特別投影● 12/24～1/8の投影日限定
15:30～の投影

この空に
願いをこめて...

中学生向けの学習番組です。
ぜひ、この機会にご家族みなさまでご覧ください。

この番組は、市内中学校に在学の方は無料で観覧することができます。対象の方は生徒手帳をご持参ください。

※詳しくはホームページか学校で配布されるチラシをご覧ください。

©GOTO

この空に
願いをこめて...

◎年末年始の平日投影 (午前の投影はありません)
→12/26(火)・12/27(水)・12/28(木)
1/4(木)・1/5(金)
※スケジュールは変更になる場合があります。

★投影スケジュール★

	10:30	13:30	15:30
12月26日～1月5日の投影日		☆	☆
土・日・祝日	☆	☆	☆

投影開始時刻の直前は受付が大変混み合います。お時間に余裕を持ってお越しください。

観覧料：
高校生以上500円、
4才～中学生200円

♪11月・12月のカレンダー♪

■は休館日、○は祝日等

月	火	水	木	金	土	日
		11/1	2	③	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	⑳	㉑	25	26
27	28	29	30	12/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※12/29～31は年末休館日です。
新年は1/4(木)より開館します。

～～～館内イベント～～～

科学館の先生による
「おたのしみサイエンスショー」
▶どんなショーかは、来てのおたのしみ！毎回、違うテーマのサイエンスショーを行います。

日時：11月 3日(金・祝日)
11月23日(木・祝日)
①11:30～ ②14:30～

場所：科学館3階わんぱくスタジオ
対象：入館者・先着順

キラキラスティック作り
土曜・日曜・祝日
①11:00～12:00 ②15:30～16:20
4歳～中学生 入れ替え制

わんぱく工作教室
土曜・日曜・祝日
13:30～14:30
4歳～中学生 入れ替え制

11月「わんわんコップ」
12月「マジックボックス」